

2026(令和8)年度 第3回別府市人権教育学級

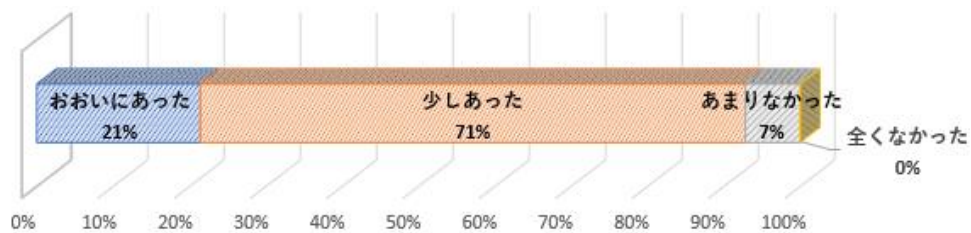
- 1 日 時 2026(令和8)年8月25日(火曜日) 13時30分～15時30分
- 2 場 所 別府市公会堂 大ホール
- 3 テーマ 「部落差別問題」
- 4 演 題 「インターネット上に反映される実社会の人権問題」
- 5 講 師 公益財団法人反差別・人権研究所みえ
常務理事兼事務局長 松村 元樹 さん

6 講座の内容

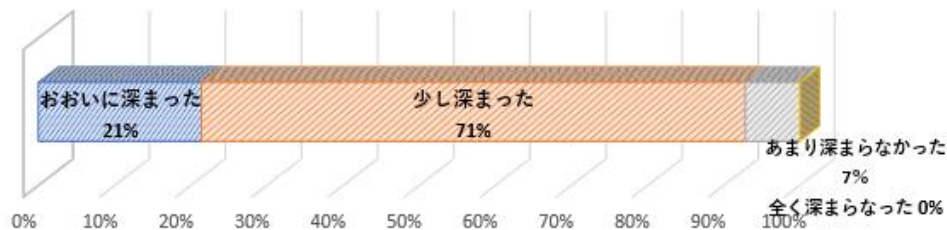
近年、インターネット上の差別や人権侵害、誹謗中傷等が深刻化しています。インターネットにおいて問題が生じた際の対策と、問題が生じないための予防措置が求められています。私たちに何ができるのかを共に考え、実践していく時間になればと思います。

7 参加者アンケート結果

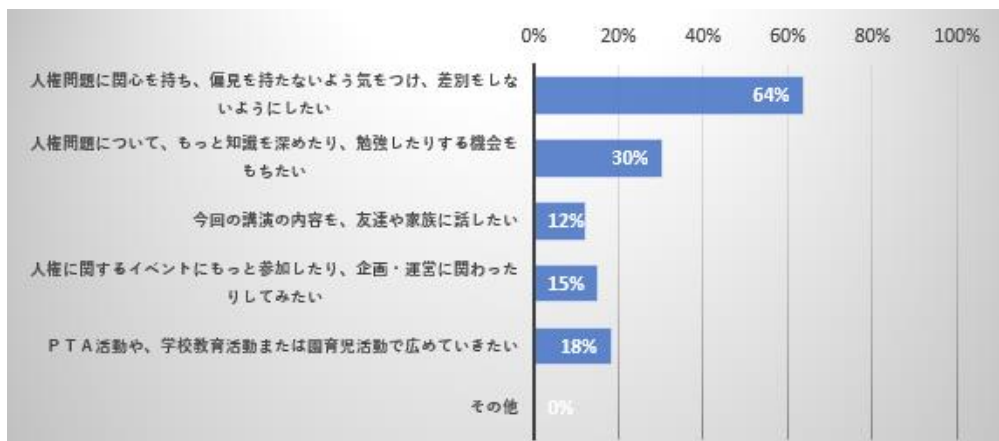
(1) 今回の講座に参加する以前に、人権問題についてどのくらい関心がありましたか。



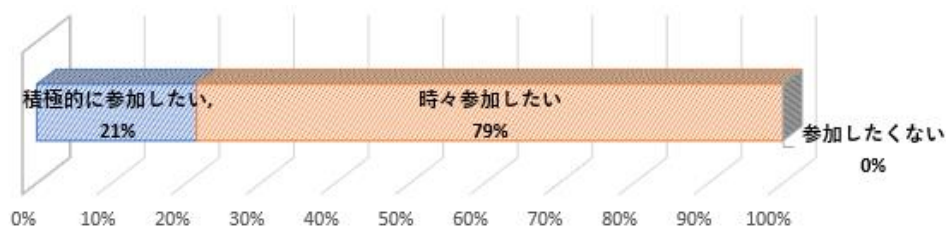
(2) 今回の講座に参加して、人権問題について、関心や理解が深まりましたか。



(3) 今回の講座に参加して、行動しようと思ったことはありますか(複数回答可)



(4) 今後もこのような講座に参加したいと思いますか。



8 学習会の様子



9 参加者の感想

- ・ 部落差別は昔からあった問題ではあるがインターネットやSNSにより伝わる速さや規模が大きくなっている。正しい知識を身につけ、自分一人からでも何かできればと思う。
- ・ 今回初めて参加させて頂き、部落差別やインターネットでの差別投稿について家族で話し合いたいと思いました。大変勉強になりました。参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・ Youtube のサムネイル等、身近な例を出されて分かりやすかったです。元々、下品な動画や過激な内容と思われるサムネイルのものなどは避けたいが、子どもが興味を持つと嫌だなと思っていて、どうしたら子どもが再生しなくなるかな？と考えていたのできちんと説明できるようになれたのがありがたいと思いました。手話をされている方がいてすばらしいと思いました。長時間大変だったと思います。お疲れさまでした。
- ・ 初めて人権問題に関する講座に参加しました。ネット社会がより拡散させてしまう恐怖を感じた。子どもの成長と共に当事者・(被・加)にならない為に子どもと一緒に知識を深める時間を持とうと思いました。
- ・ 表面だけ見て判断せず、なぜなのかを考える事が大切。SNSは本当の事もあるけど、収益のためにデマを流している物も多いので全て信じてはいけません。
- ・ 普段何気なく使っている言葉や行動にも相手を傷つけるものがあると、あらためて気づきました。
- ・ 小学校の頃から「部落問題」を学んだ事があるけど、いまいち理解できていません。なぜ差別があるのか、なぜなくなるのか、むずかしい問題である事はわかりますが、一度いちから全部学びたいです。